

浄光

発行 妙源寺
 昭和町西条 4157
 TEL 055-275-4739

ホームページの検索は、「j-myogenji.jp」(すべて小文字)で検索

妙源寺通信

2024

辰年

ご挨拶・・・『日々に新たに感謝を抱いて』

新年おめでとうございます。

年度の始めです。昨年を振り返るに、スポーツや将棋界など明るいニュースがありながら、反面なんとなく暗い出来事が多かったように思われます。それは、小さなことをなおざりにして、事に対して思い違いをしているのではないかと存外に感じます。あのスペイン風邪から100年に一度の時代を生きて、在り方が多様に変化しています。この変化を取り入れられてこそ人の成長は期待できるのでしょうか。大学入学式での上野千鶴子氏の祝辞に「がんばったら報われるとあなたがたが思えることそのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったこと忘れないようにしてください。恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれないひとびとを貶めるためにではなく、そういうひとびとを助けるために使ってください。」また、母校の有り様を包み隠さず述べていますが、世界はものすごい勢いで変化しています。その人の代わりはいません。いくらでもあるなどと言うことはありえません。新しい年に、日々に新たに感謝を抱いて成長していかなければなりません。

ご《寄付》をいただきました。

先般、愛知県の当山壇信徒である中村三好様より相当額の浄財を賜りました。『お寺のために・・・』という中村様の丹精な思いを大変有り難く慎んで享受させて頂きました。つきましては、施主様のご意志を尊重し、かかる浄財を「ふじみ堂」の観音様を納める匣(はこ)とお厨子の施行費用として充てさせていただきました。



七面山祭典9 / 16

「人生」の「アレ(A.R.E)」

昨年の「新語・流行語大賞」は表題の文句に決まりました。この言葉は「ある目標(Aim)に向かって、敬意(Respect)を以って、力を蓄える(Empower)というコンセプトを過剰に意識しないよう、「アレ」と表現して緊張を解(ほぐ)す意図で考えられたようです。

すなわち、私たちは現代社会において、各々に目標・使命・責務などを背負って生きていかなければなりません。とはいえそれらを達成出来なかったり、またその責任を問われたりして辛い境遇に陥ることも少なくないでしょう。さて、その様にならないような「心掛け」として、「誰もが遅かれ早かれいざれ終りを迎える命、この瞬間(とき)を生きている(きた)ことが何よりの幸せ」と顧みて、即ち目標とした悟りの境地に達することが、「人生」における「アレ」ではないかと思えます。 当山 住職

コラム

お炊き上げ

平安時代の宮中の神事の際の火祭りが起源とされる。神道も仏教も、火の神の力をかりて、浄化・供養することです。役目を終えたお札やお守りをお炊き上げすることで元の場所に還っていただき、感謝の気持ちを伝えることです。小正月の「どんど焼き」も火の力で無病息災・安全を願います。

妙源寺においても、12月8日(金)に唱題行、並びにお炊き上げを行いました。また、同夜、一区の石川食堂にて年末の忘年会を催し楽しい一時を過ごすことができました。



準備等大変ご苦労様でした。今年は天候にも恵まれ提灯を朝まで掲揚してお祭りに添えました。また、長倉お上人より七面山に関わっての法話をさせていただきました。世話人さん年番さん、お題目の方々、ご参拝ありがとうございました。



◆今後の行事予定

・4月8日 花祭り